

平成19年3月9日

平成18年度献血受入計画（平成18年度4～12月）における
取組み状況と平成19年度献血受入計画の策定について

日本赤十字社 血液事業本部

- 1 平成18年度4～12月における各都道府県別の血液確保量、
確保目標量に対する達成率及び比較 別紙1のとおり

- 2 血液確保目標量と確保量及び供給量との比較に基づく分析

各血液センターにおける献血受入計画（平成18年度4～12月）の目標量146.8万Lに対する確保量は139.6万Lで、達成率は95.1%となっており、確保量が目標量を下回っていますが、これは、各血液センターが献血受入計画を基本としながらも、医療機関からの受注状況と血液の在庫状況を勘案し、それぞれの地域における需要に応じた採血を行った結果であり、全国的には安定供給を確保しています。

また、全体の血液確保量139.6万Lに対し、原料血漿及び輸血用血液製剤の合計使用量は135.5万L（使用量に対する確保率103.1%）で、4.2万L（確保量の3.0%）が未使用量であります。

安定供給を確保するためには、ある程度の未使用量を見込まなければなりません。7ヵ所の基幹センターを中心とした県境を越えた積極的な需給調整を行い、輸血用血液製剤の活用を図った結果であり、安定供給に必要な適切な血液確保量であると判断しておりますが、より一層需給管理の精度向上と需給調整による有効活用を図り、未使用量の減少に努めます。

- 3 血液製剤の安定供給等に係る取組み

輸血用血液製剤の在庫の過不足の早期把握、安定的な供給を図るための必要な措置の検討と実施及び需給計画の検証を行うため、血液事業本部及び血液センターにおいては次の取組みを行っています。

(1) 血液事業本部の取組み

血液事業本部に、献血者確保及び血液製剤の供給等について審議する「血液事業推進委員会」を設置し、特に輸血用血液製剤の安定供給を確保するため、同委員会の下に「安定供給促進小委員会」（原則毎週金曜日開催）を設置し、全国の輸血用血液製剤の需給状況及び原料血漿の確保状況を把握し、輸血用血液製剤の安定供給を実現・維持するための対応策の検討を行い、各血液センターへの指示・監視・指導を実施しています。

平成18年7月には、全国血液センター需給管理担当者を招集し、昨冬季における需給管理の検証とあわせて、需給管理業務にかかるシミュレーションの活用について研修を行いました。

(2) 各血液センターの取組み

各血液センターにおいては、「需給計画委員会」を原則として毎週開催し、採血・製造・供給の予測に基づく在庫シミュレーションによる赤血球製剤・血漿製剤・血小板製剤の需給計画の検証を行い、基本となる献血受入計画に調整を加え、翌月・翌々月の中期的需給計画を策定しています。

また、基幹センターは、上記の血液センターとしての対応に加え、管内血液センターの需給状況（採血・製造・供給状況等）の把握、需給計画の検証及び指導を行うとともに必要に応じて血液の需給調整を行っています。

(3) 在庫量の情報管理と危機管理対応

- ① 血液事業本部は、休日を除く毎日、午前6時現在の全国各血液センターの赤血球製剤の在庫を確認（別紙2）し、注意報水準・警報水準に陥らないよう常に全国の需給状況を確認するとともに、赤血球製剤の在庫状況を厚生労働省へ報告しています。

また、各血液センターからは各都道府県及び各都道府県支部へ同様に情報提供しています。

- ② 注意報水準あるいは警報水準に陥った血液センターについては、「危機管理水準の情報報告書」により危機管理水準の現況、それに至るまでに講じた方策等を、基幹センターを通じて血液事業本部へ提出させ、それを受けて血液事業本部は「危機管理水準の対応指示書」により具体的な対策等を指示しています。
- ③ さらに、需給予測によって血液不足が見込まれる血液センターについては、所長等を血液事業本部へ召致し、今後の採血計画の見直しや増班体制などの具体的な対策を講じるよう指示しています。

- ④ また、平成17年4月に本社及び各血液センターに献血推進本部を設置し、万一、安定供給の確保が懸念される場合には、国及び都道府県と連携して迅速に効果的な対応がとれる体制を整備しています。

4 冬季献血者確保対策

平成18年9月、11月に開催した安定供給小委員会にあわせて基幹センター献血推進・供給担当課長会議を開催し、赤血球製剤の在庫が全国的に逼迫する冬季の在庫予測シミュレーション等に基づき、進捗状況確認及び対策の検討を行いました。

5 平成18年度献血受入計画の進捗状況

平成18年度献血受入計画として、核となる対策と取組みを血液事業本部から各血液センターへ指示し、各血液センターでは都道府県との連携のもとに受入計画を策定・実施しています。なお、その対策と各血液センターにおける主な取組みの実施状況は次のとおりです。

(1) 若年層を対象とした対策

- ・ 小中高生を対象にした血液センター等の見学受入れ（体験学習を通じて献血に触れ合う機会を創出し、献血への理解を求める）
- ・ 大学生等を中心とした若年層に献血への理解促進を図るため、血液事業の紹介等のセミナーを開催

(2) 企業における献血の推進対策

- ・ 新規協力企業の開拓
- ・ 献血ルームや移動献血会場への協力企業を開拓

(3) 複数回献血者確保対策

- ・ 「複数回献血クラブ」会員の募集を増強
- ・ 「複数回献血クラブ」会員への献血依頼及び理解促進のための情報提供を実施

(4) 目標量を確保するための全般的な対策

(広報活動への取組み)

- ・ 全国統一献血キャンペーン（「愛の血液助け合い運動」「クリスマスキャンペーン」「はたちの献血」「春の献血キャンペーン」）を各地で展開
- このほか、血液センターが独自に「紹介キャンペーン」「グループ献血キャン

ペーン」「〇周年記念キャンペーン」「七夕献血キャンペーン」「年末年始献血キャンペーン」等を実施

- ・ポスター、パンフレット、新聞折込、インターネット等を活用した広報を実施
- ・地元J1サッカーチームに依頼し、キャンペーンを実施
- ・プロ野球選手による呼びかけ、トークショーを実施

(血液センターにおける需要に対応した献血者確保への取組み)

- ・特定の血液型の登録者へ血小板献血を依頼(ハガキ、封書、電話等による)し、血小板製剤の需要予測に見合った計画的採血を実施
- ・需要に応じた400mL献血を推進
- ・需給予測に基づき、受付時間延長、献血バス派遣増等の対応により、柔軟な受入体制を措置

(血液センターにおける安定した献血者確保への取組み)

- ・新規協力団体の開拓を行うとともに、既存協力団体の献血実施回数の増加を依頼し、街頭献血等をこれら団体の実施に振替えて稼働効率を改善
- ・大手協力団体の献血実施時期を変更し、安定した献血者を確保
- ・献血ルームのリニューアル、移転等による受入体制の整備
- ・新聞紙上における協力団体のお礼紹介
- ・献血バスによる定期的な献血会場を設定し、複数回献血者の確保を推進
- ・県と連携して保健所単位の献血推進連絡協議会を開催し、関係機関への情報提供を行うとともに献血協力を依頼

6 平成19年度献血受入計画の策定

(1) 当該年度に献血により受け入れる血液の目標量

各血液センターにおける平成17年度供給数の実績と平成18年度上半期の供給数を中心に、過去3年の供給動向(別紙3)から傾向を分析し、当該年度の供給数を見込み、都道府県との協議のうえ、献血の目標量を算定しました。

なお、こうした献血の目標量の算定方法については、血液事業本部から各血液センターへ統一した考え方を示し作成されています。

(2) 前号の目標量を確保するために必要な措置に関する事項

- ・献血受入体制の策定

各血液センターにおいては、献血の目標量を確保するため、献血種別にも配慮し

ながら、過去の献血実績に基づき、施設別（献血ルーム、献血バス、出張採血）の月別、週別、日別の献血受入体制を策定しています。

これらをもって、都道府県と献血受入計画等を協議し、基礎となる年間の献血バスの配車計画等を定めています。

・ 献血者の確保対策

血液事業本部では、献血者の確保に関する基本的対策について、国の基本方針及び献血推進計画に呼応した献血者確保対策を基本とし、各血液センターへ指示しています。

血液センターでは、血液事業本部の指示による献血者確保対策を基本としながらも、それぞれの地域事情を反映した「都道府県献血推進計画」と連携した献血者確保の取組みを計画しています。

英国渡航歴を有する方の献血制限措置が実施された平成17年4月には、血液不足が懸念され、多くのマスコミがこれを取り上げ、献血者が急増したことは、未だ記憶に新しいところです（別紙4）。こうした特別な場合を除くと、一年を通して安定供給を維持するための献血者の確保は、地道な日々の取組みの積み重ねによるところが大きいと言えます。

各血液センターで実施されている各種取組みは、これまで過去に行ってきた取組みの中でも効果的なものが継続的に実施されています。

平成19年度の各血液センターにおける献血者の確保対策については、別紙5のとおり血液事業本部が示した基本となる確保対策項目に、各血液センター自らが数値目標を設定し、具体的取組みの進捗状況を評価することとしています。

なお、血液事業本部においては、各地の情報を収集し、全国会議等において各地の取組み事例を紹介する機会を設け、また、各地の取組みを月間情報として配布する等、献血者確保のための情報共有を図っています。

(3) その他献血の受入れに関する重要事項

血液事業本部では、国の基本方針及び献血推進計画に基づき、日本赤十字社として、これら方針及び計画に沿った献血の受入れに関する重要事項について、計画しています。

各都道府県別血液確保量等一覧(平成18年4~12月)

単位:L

No.	都道府県名	血液確保量				血液使用量				献血量-使用量	
		受入計画量 A	献血量 B	B-A	計画達成率 B/A	供給量	原料血漿 送付量	計 C	B/C	未使用量 D=B-C	率 D/B
						自センター+他セ ンターへの払出					
1	北海道	75,433	78,542	3,109	104.1%	39,451	35,685	75,136	104.5%	3,406	4.3%
2	青森県	19,005	16,798	△ 2,207	88.4%	7,451	8,425	15,876	105.8%	922	5.5%
3	岩手県	15,214	13,312	△ 1,902	87.5%	5,799	7,166	12,965	102.7%	347	2.6%
4	宮城県	28,448	25,246	△ 3,202	88.7%	11,626	13,047	24,673	102.3%	573	2.3%
5	秋田県	14,557	13,426	△ 1,131	92.2%	6,258	6,592	12,850	104.5%	576	4.3%
6	山形県	12,525	10,526	△ 1,999	84.0%	4,228	5,538	9,766	107.8%	760	7.2%
7	福島県	23,594	23,040	△ 554	97.7%	10,329	10,642	20,971	109.9%	2,069	9.0%
8	茨城県	28,585	25,547	△ 3,038	89.4%	11,202	12,404	23,606	108.2%	1,941	7.6%
9	栃木県	20,719	19,553	△ 1,166	94.4%	8,772	9,437	18,209	107.4%	1,344	6.9%
10	群馬県	23,764	23,184	△ 580	97.6%	10,193	12,870	23,063	100.5%	121	0.5%
11	埼玉県	67,169	66,030	△ 1,139	98.3%	26,370	39,320	65,690	100.5%	340	0.5%
12	千葉県	61,575	58,036	△ 3,539	94.3%	26,610	29,829	56,439	102.8%	1,597	2.8%
13	東京都	168,102	158,904	△ 9,198	94.5%	76,818	82,132	158,950	100.0%	△ 46	0.0%
14	神奈川県	85,520	80,018	△ 5,502	93.6%	36,216	44,617	80,833	99.0%	△ 815	-1.0%
15	新潟県	27,072	26,546	△ 526	98.1%	11,634	13,702	25,336	104.8%	1,210	4.6%
16	富山県	11,479	10,512	△ 967	91.6%	4,270	5,930	10,200	103.1%	312	3.0%
17	石川県	16,077	13,693	△ 2,384	85.2%	6,014	6,852	12,866	106.4%	827	6.0%
18	福井県	9,825	9,377	△ 448	95.4%	4,561	5,297	9,858	95.1%	△ 481	-5.1%
19	山梨県	9,098	9,827	730	108.0%	4,821	4,475	9,296	105.7%	531	5.4%
20	長野県	23,654	22,785	△ 869	96.3%	8,689	12,841	21,530	105.8%	1,255	5.5%
21	岐阜県	23,400	20,958	△ 2,442	89.6%	8,571	12,335	20,906	100.2%	52	0.2%
22	静岡県	38,093	37,677	△ 416	98.9%	15,571	20,275	35,846	105.1%	1,831	4.9%
23	愛知県	76,065	76,647	582	100.8%	31,758	42,989	74,747	102.5%	1,900	2.5%
24	三重県	17,579	18,126	547	103.1%	6,635	11,075	17,710	102.3%	416	2.3%
25	滋賀県	14,429	12,655	△ 1,774	87.7%	5,390	6,943	12,333	102.6%	322	2.5%
26	京都府	31,875	31,367	△ 508	98.4%	14,904	15,804	30,708	102.1%	659	2.1%
27	大阪府	109,501	106,996	△ 2,505	97.7%	49,004	54,855	103,859	103.0%	3,137	2.9%
28	兵庫県	60,680	55,517	△ 5,163	91.5%	23,340	28,493	51,833	107.1%	3,684	6.6%
29	奈良県	16,181	14,896	△ 1,285	92.1%	7,079	8,063	15,142	98.4%	△ 246	-1.7%
30	和歌山県	13,396	11,942	△ 1,454	89.1%	5,331	5,789	11,120	107.4%	822	6.9%
31	鳥取県	8,264	7,701	△ 563	93.2%	3,361	3,742	7,103	108.4%	598	7.8%
32	島根県	9,851	8,538	△ 1,313	86.7%	3,615	4,286	7,901	108.1%	637	7.5%
33	岡山県	25,211	23,642	△ 1,569	93.8%	11,067	10,953	22,020	107.4%	1,622	6.9%
34	広島県	38,161	36,154	△ 2,007	94.7%	16,106	18,678	34,784	103.9%	1,370	3.8%
35	山口県	17,771	17,059	△ 712	96.0%	8,166	7,986	16,152	105.6%	907	5.3%
36	徳島県	9,968	8,928	△ 1,040	89.6%	4,304	4,927	9,231	96.7%	△ 303	-3.4%
37	香川県	12,690	11,765	△ 925	92.7%	5,742	5,712	11,454	102.7%	311	2.6%
38	愛媛県	17,624	16,465	△ 1,159	93.4%	7,650	9,064	16,714	98.5%	△ 249	-1.5%
39	高知県	11,251	9,354	△ 1,897	83.1%	4,140	4,513	8,653	108.1%	701	7.5%
40	福岡県	57,639	53,543	△ 4,096	92.9%	28,663	32,629	61,292	87.4%	△ 7,749	-14.5%
41	佐賀県	9,673	10,016	343	103.5%	0	0	0	-	10,016	100.0%
42	長崎県	17,295	16,622	△ 673	96.1%	7,384	8,797	16,181	102.7%	441	2.7%
43	熊本県	23,363	23,480	118	100.5%	10,558	12,041	22,599	103.9%	881	3.8%
44	大分県	14,627	12,938	△ 1,689	88.5%	5,487	6,732	12,219	105.9%	719	5.6%
45	宮崎県	13,973	13,402	△ 571	95.9%	5,778	6,426	12,204	109.8%	1,198	8.9%
46	鹿児島県	21,347	19,189	△ 2,158	89.9%	9,021	10,057	19,078	100.6%	111	0.6%
47	沖縄県	16,428	15,605	△ 823	95.0%	7,259	7,425	14,684	106.3%	921	5.9%
	計	1,467,744	1,396,084	△ 71,660	95.1%	627,196	727,390	1,354,586	103.1%	41,498	3.0%

※ 受入計画量は、平成18年度受入計画を3/4したものの

平成17年度各都道府県別血液確保量等一覧

単位:L

No.	都道府県名	血液確保量				血液使用量				献血量-使用量	
		献血受入計画量	献血量	B-A	計画達成率	供給量	原料血漿 送付量	計	B/C	未使用量	率
		平成17年度	平成17年度			自センター+他セ ンターへの払出					
A	B	B/A									
1	北海道	101,023	103,275	2,252	102.2%	52,779	43,894	96,673	106.8%	6,602	6.4%
2	青森県	25,974	22,050	△ 3,924	84.9%	9,548	10,480	20,028	110.1%	2,022	9.2%
3	岩手県	21,284	19,319	△ 1,965	90.8%	8,590	10,638	19,228	100.5%	91	0.5%
4	宮城県	37,382	36,093	△ 1,289	96.6%	15,982	17,258	33,240	108.6%	2,853	7.9%
5	秋田県	19,615	18,557	△ 1,058	94.6%	8,525	8,819	17,344	107.0%	1,213	6.5%
6	山形県	16,779	15,635	△ 1,144	93.2%	5,775	8,682	14,457	108.1%	1,178	7.5%
7	福島県	30,583	31,942	1,359	104.4%	14,502	15,276	29,778	107.3%	2,164	6.8%
8	茨城県	39,700	35,662	△ 4,038	89.8%	15,457	18,813	34,270	104.1%	1,392	3.9%
9	栃木県	28,654	26,714	△ 1,940	93.2%	11,367	13,911	25,278	105.7%	1,436	5.4%
10	群馬県	31,714	31,561	△ 153	99.5%	13,809	15,379	29,188	108.1%	2,373	7.5%
11	埼玉県	88,216	88,079	△ 137	99.8%	35,194	47,146	82,340	107.0%	5,739	6.5%
12	千葉県	84,828	77,895	△ 6,933	91.8%	36,703	38,674	75,377	103.3%	2,518	3.2%
13	東京都	216,585	219,758	3,173	101.5%	106,014	104,890	210,904	104.2%	8,854	4.0%
14	神奈川県	120,688	110,969	△ 9,719	91.9%	49,056	57,389	106,445	104.3%	4,524	4.1%
15	新潟県	35,267	37,019	1,752	105.0%	15,457	18,432	33,889	109.2%	3,130	8.5%
16	富山県	16,620	15,222	△ 1,398	91.6%	5,876	8,223	14,099	108.0%	1,123	7.4%
17	石川県	23,067	21,192	△ 1,875	91.9%	8,033	11,910	19,943	106.3%	1,249	5.9%
18	福井県	13,840	14,453	613	104.4%	6,677	6,765	13,442	107.5%	1,011	7.0%
19	山梨県	12,324	13,555	1,231	110.0%	6,097	6,705	12,802	105.9%	753	5.6%
20	長野県	33,480	33,101	△ 379	98.9%	12,142	18,382	30,524	108.4%	2,577	7.8%
21	岐阜県	31,400	28,501	△ 2,899	90.8%	11,656	15,356	27,012	105.5%	1,489	5.2%
22	静岡県	53,291	51,121	△ 2,170	95.9%	20,757	27,407	48,164	106.1%	2,957	5.8%
23	愛知県	105,601	99,228	△ 6,373	94.0%	42,600	50,925	93,525	106.1%	5,703	5.7%
24	三重県	23,304	24,604	1,300	105.6%	8,654	15,384	24,038	102.4%	566	2.3%
25	滋賀県	19,978	17,264	△ 2,714	86.4%	7,746	8,975	16,721	103.2%	543	3.1%
26	京都市	45,890	41,150	△ 4,740	89.7%	20,344	19,564	39,908	103.1%	1,242	3.0%
27	大阪府	144,537	144,511	△ 26	100.0%	66,730	66,657	133,387	108.3%	11,124	7.7%
28	兵庫県	76,198	75,430	△ 768	99.0%	31,537	38,657	70,194	107.5%	5,236	6.9%
29	奈良県	22,200	20,077	△ 2,123	90.4%	9,179	9,096	18,275	109.9%	1,802	9.0%
30	和歌山県	17,761	16,809	△ 952	94.6%	7,602	7,185	14,787	113.7%	2,022	12.0%
31	鳥取県	11,360	11,132	△ 228	98.0%	4,206	5,688	9,894	112.5%	1,238	11.1%
32	島根県	13,641	12,023	△ 1,618	88.1%	4,801	5,620	10,421	115.4%	1,602	13.3%
33	岡山県	34,000	32,746	△ 1,254	96.3%	15,362	15,410	30,772	106.4%	1,974	6.0%
34	広島県	51,914	51,274	△ 640	98.8%	20,636	25,933	46,569	110.1%	4,705	9.2%
35	山口県	24,275	24,393	118	100.5%	11,198	10,859	22,057	110.6%	2,336	9.6%
36	徳島県	14,441	13,898	△ 543	96.2%	6,168	6,450	12,618	110.1%	1,280	9.2%
37	香川県	17,385	16,040	△ 1,345	92.3%	7,957	7,013	14,970	107.1%	1,070	6.7%
38	愛媛県	25,472	24,560	△ 912	96.4%	10,680	10,586	21,266	115.5%	3,294	13.4%
39	高知県	15,042	13,718	△ 1,324	91.2%	5,829	6,960	12,789	107.3%	929	6.8%
40	福岡県	74,531	73,658	△ 873	98.8%	37,133	42,829	79,962	92.1%	△ 6,304	-8.6%
41	佐賀県	11,882	12,799	917	107.7%	0	0	0	-	12,799	100.0%
42	長崎県	24,035	24,343	308	101.3%	9,560	13,363	22,923	106.2%	1,420	5.8%
43	熊本県	33,338	33,637	299	100.9%	13,721	16,190	29,911	112.5%	3,726	11.1%
44	大分県	19,499	18,716	△ 783	96.0%	7,560	8,970	16,530	113.2%	2,186	11.7%
45	宮崎県	19,540	18,822	△ 718	96.3%	7,587	8,484	16,071	117.1%	2,751	14.6%
46	鹿児島県	28,512	27,173	△ 1,339	95.3%	11,898	12,455	24,353	111.6%	2,820	10.4%
47	沖縄県	21,564	22,765	1,201	105.6%	10,885	10,558	21,443	106.2%	1,322	5.8%
	計	1,978,214	1,922,443	△ 55,771	97.2%	849,569	948,240	1,797,809	106.9%	124,634	6.5%

血液製剤の在庫状況(血液センター別)

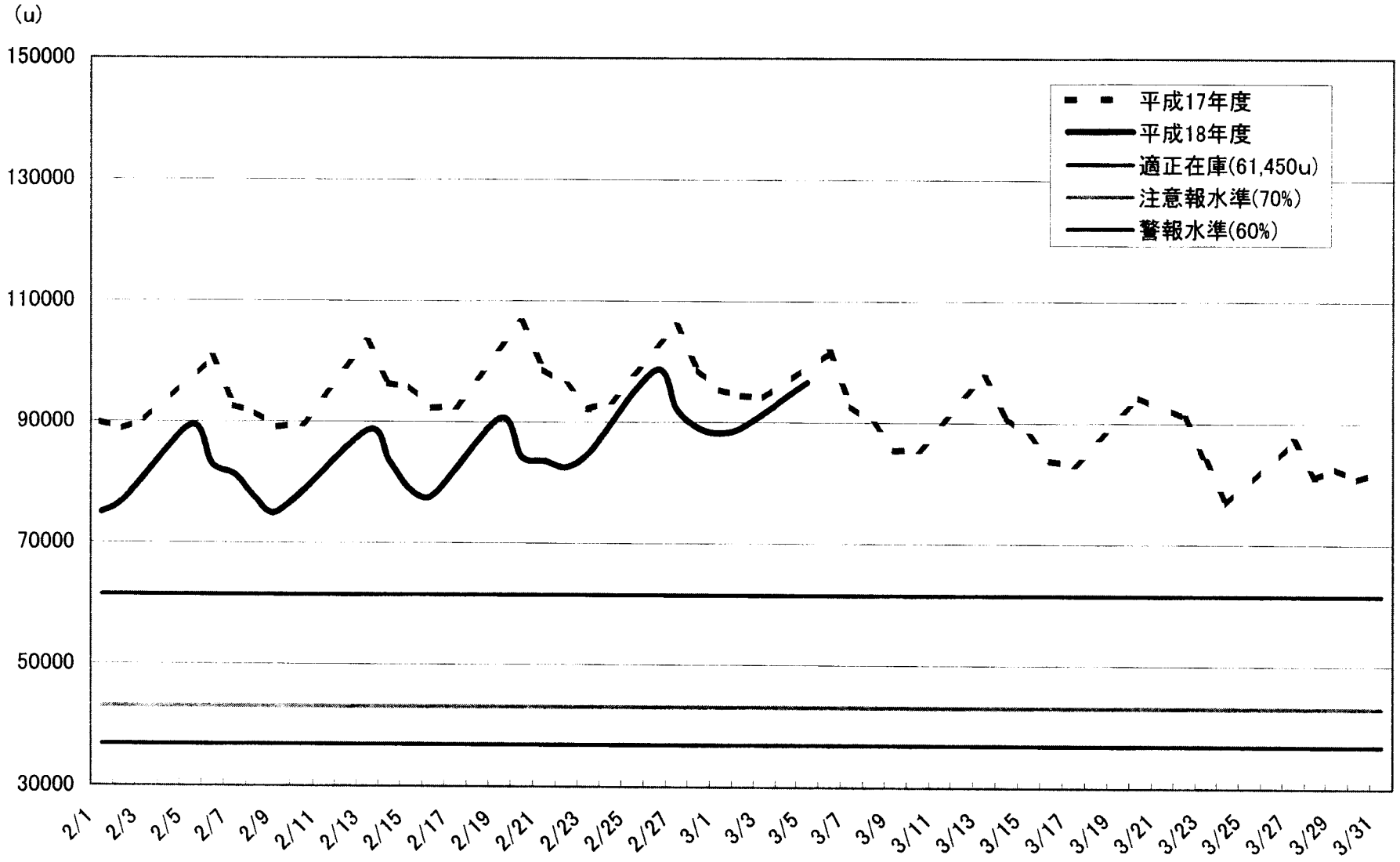
2007/3/6 6:00 AM
単位: (換算本数)

Table with columns for Center Name, Blood Type, and Inventory Status (Inventory, Actual, Difference, Inventory Rate) for various blood products (A, O, B, AB) across different centers. Includes a '全国' (National) summary section at the bottom right.

全国の赤血球の在庫状況(平成18年度)

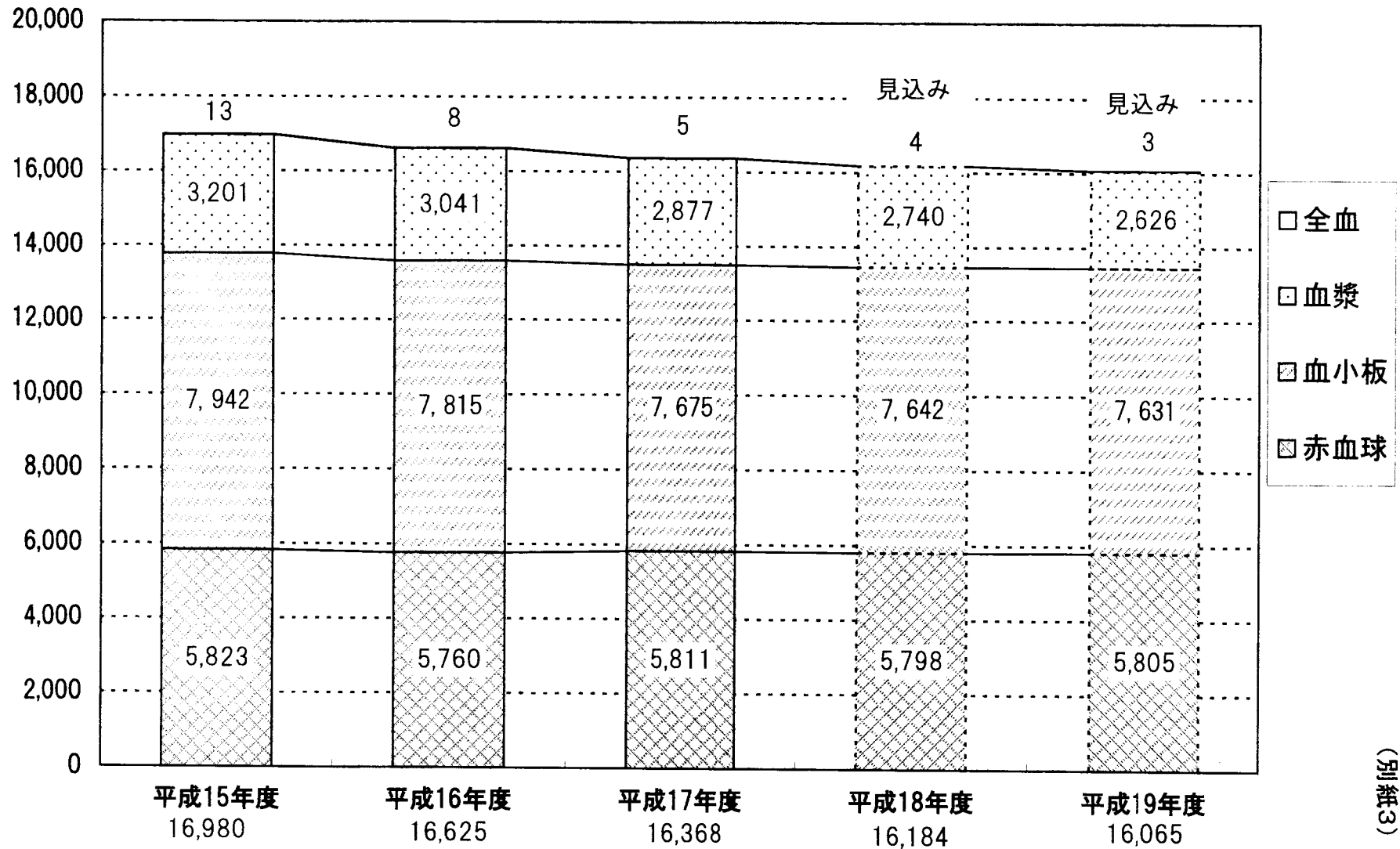
2007/4/1 火 ブロック名	RCCLR+照射RCCLR (換算数)						2007/2/28					2007/2/28				
	上段:適正在庫					過不足率	上段: RCCLR1					上段: RCCLR1				
	中段:実在庫						中段: RCCLR2					中段: RCCLR2				
適正在庫数	A	O	B	AB	計	A	O	B	AB	計	A	O	B	AB	計	
北海道ブロック 4,500	1,570 2,276 145%	1,370 2,026 148%	1,010 1,601 159%	550 759 138%	4,500 6,662 **	148%	19 192	24 158	16 119	9 53	68 522	249 812	196 745	153 597	94 275	692 2,429
宮城ブロック 5,070	1,790 2,270 127%	1,590 1,901 120%	1,110 2,402 216%	580 609 105%	5,070 7,182 **	142%	7 28	12 36	8 19	2 5	29 88	341 933	257 780	304 1,026	103 247	1,005 2,986
東京ブロック 18,880	6,918 9,350 135%	5,822 7,575 130%	3,992 6,639 166%	2,148 2,839 132%	18,880 26,403 **	140%	240 1,619	186 1,392	154 1,135	94 440	674 4,586	958 2,457	639 1,983	595 1,810	259 803	2,451 7,053
愛知ブロック 9,324	3,507 5,209 149%	2,781 4,211 151%	2,016 3,299 164%	1,020 1,666 163%	9,324 14,385 **	154%	106 754	81 694	80 430	48 200	315 2,078	517 1,539	408 1,167	359 1,000	230 494	1,514 4,200
大阪ブロック 10,420	3,983 5,768 145%	3,115 3,602 116%	2,107 3,170 150%	1,215 1,435 118%	10,420 13,975 **	134%	75 587	57 392	39 386	32 123	203 1,488	477 2,021	351 1,205	219 1,070	133 512	1,180 4,808
岡山ブロック 5,971	2,354 3,165 134%	1,760 2,677 152%	1,213 2,116 174%	644 1,029 160%	5,971 8,987 **	151%	16 184	16 161	18 143	10 58	60 546	271 1,255	183 1,078	188 812	63 420	705 3,565
福岡ブロック 7,285	2,855 3,598 126%	2,205 2,712 123%	1,420 2,662 187%	805 1,098 125%	7,285 8,990 **	137%	52 471	18 315	13 244	5 89	88 1,119	142 1,231	112 976	131 1,015	43 391	428 3,613
合計 61,450	22,977 31,636 138%	18,643 24,704 133%	12,868 21,889 170%	6,962 9,345 134%	61,450 87,574 **	143%	515 3,835	394 3,148	328 2,476	200 968	1,437 10,427	2,955 10,248	2,146 7,934	1,949 7,330	925 3,142	7,975 28,654

年度別赤血球在庫の推移(全国集計2月～3月)



(千単位)

供給実績と供給見込み



(別紙3)

年度別赤血球在庫の推移（全国集計）

